

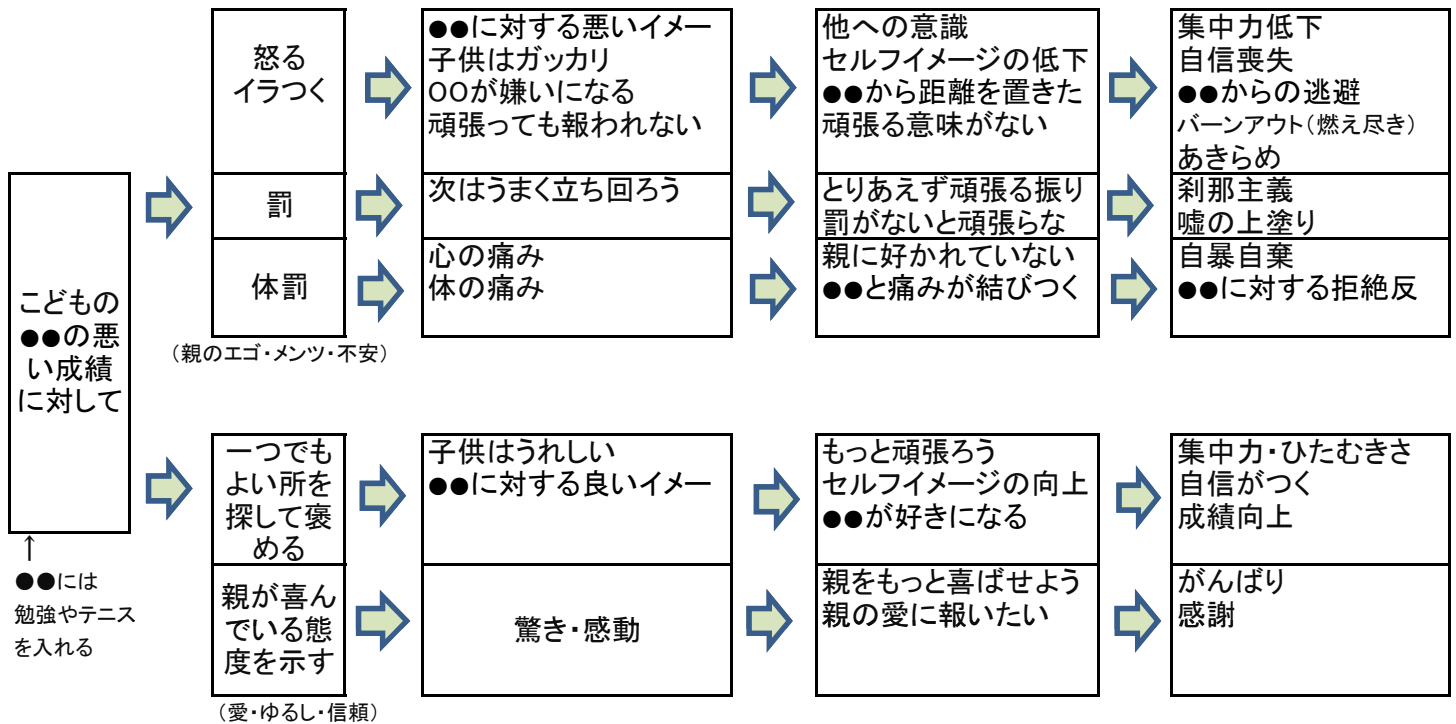
親が子供のセルフイメージを作る

子供の行動や結果を常に肯定的にとらえるようにしましょう。

世界的に偉業を残した人には、共通した親の在り方があります。子供が成績が悪くても不登校であっても、常に肯定的にとらえ「あなたはすごいんだから」、「あなたはかならず成功するから」「あなたを信頼しているよ」というメッセージを送り続けていたというケースです。

子どもたちは大好きなことには、ゲームなどのようにとんでもない集中力を発揮します。つまりどうやって好きにさせるかです。

この図は、私たちが多くの子供たちや家庭にかかわってきた中で感じたものを、書籍やHPなどから言葉をお借りして示しています。



この図からは全く怒らないほうが良いような印象を受けますが、時にはどうしても怒らなければならない事もあるでしょう。その場合は必ず「あなたのことを心から愛しているから」というメッセージを表情や声のトーンで同時に伝えるようににしましょう。

◆子どものセルフイメージを低下させないように、

「XXXしないから、○○できないんだよ！」
「XXXできないから、ダメなんだよ！」



「あなたなら○○したら、○○できるようになるよ」
「あなたならあきらめなければ、○○できるようになるよ」

◆絶対に使いたくない言葉

「バカ」「アホ」「ダメなやつ」など
「どうせ出来っこない」「お前には無理」

◆子供に対してやってはいけない行動

親ががっかりした表情を見せる
できなかったことに対して愛情を割り引く(辛くあたる)ような行動
軽く頭をたたくなども含めて、体罰など